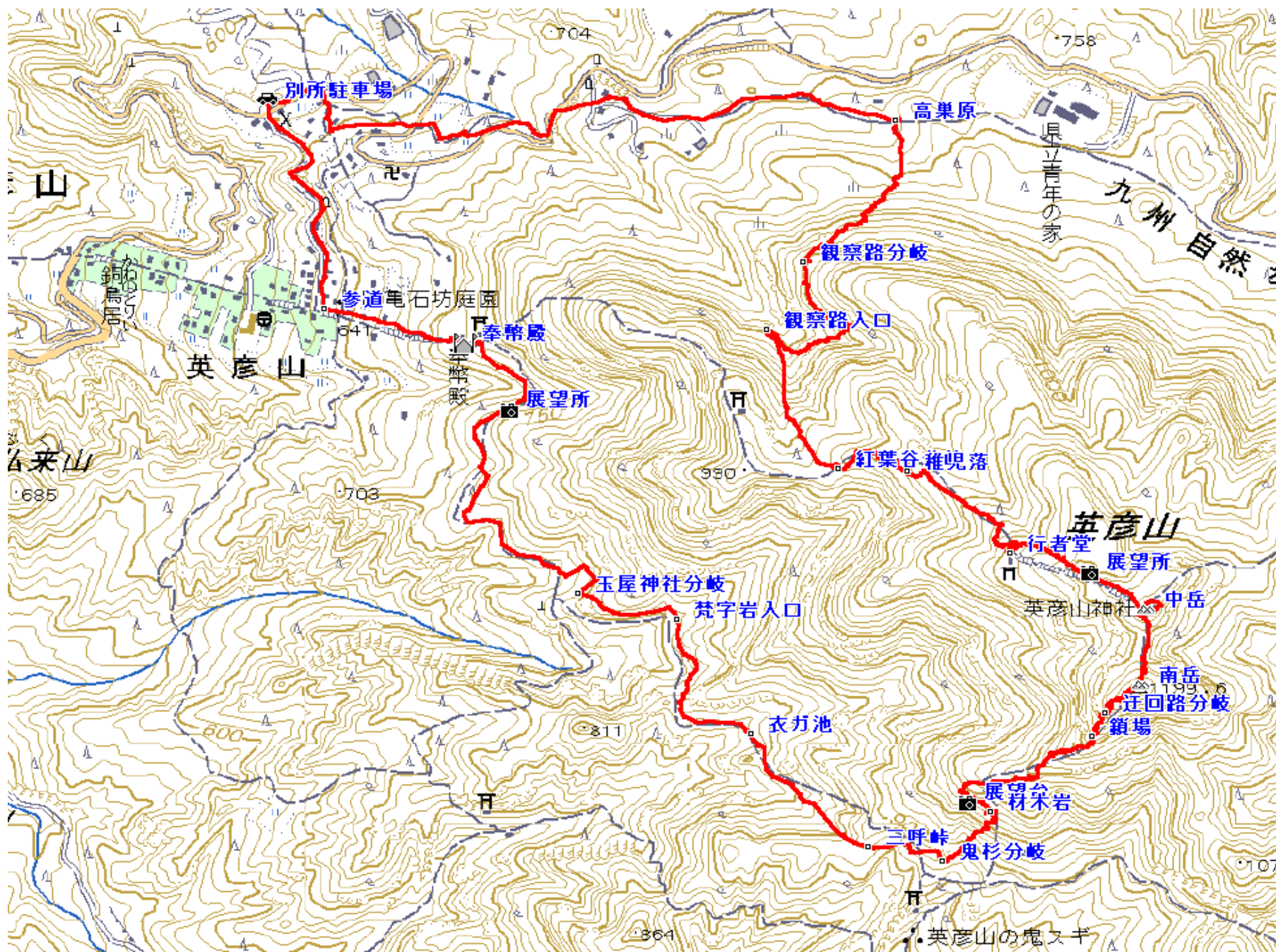


# 英彦山(1200m)

2008年9月27日(土) 晴れ

別所駐車場(0:15)参道(0:10)奉幣殿(0:35)玉屋分岐(0:05)梵字岩入口(0:10)衣ガ池(0:25)鬼杉分岐(0:15)材木岩(0:15)展望台(0:15)鎖場(0:10)迂回路分岐(0:10)南岳(1200m)(0:10)中岳(1188m)(0:10)行者堂(0:15)稚児落(0:05)紅葉谷分岐(0:20)観察路入口(0:20)観察路分岐(0:20)高巢(0:40)別所駐車場 歩行距離=9.1km 歩行時間=5時間5分



別所駐車場に車を止め、8時50分秋晴れ中歩き始める。参道手前の田浦商店で「英彦山豆腐」を予約する。



参道から石畳、石段と歩けば10分ほどで奉幣殿である。右側にケーブルが下って行った。上宮への参道を直ぐに右の鬼杉コースへ入る。



歩きやすい歩道を35分ほどで、玉屋神社分岐を経て「梵字岩入口」である。「衣ガ池」の傍を通り、鬼杉分岐をめざす。



「鬼杉分岐」 右は、大南神社を経て鬼杉へ到る。鬼杉から迂回して「材木岩」に到るルートあり。



「材木岩」火山で噴出したマグマが急に冷えて固まった時にできた安山岩の柱状節理で、材木を積み重ねたように見えることから、材木石と呼ばれています。急登を一登りで展望台に着く。



展望台から尾根の登りとなり、鎖場まで15分。迂回路分岐を経て南岳まではさらに20分。



標高(1200m)の南岳。展望台は、立ち入り禁止。周囲はクマザザが茂り展望は得られない。



さらに尾根沿いに10分程で、中岳(上宮)である。屋根の右側が破損して無くなっていた。南に九重の噴煙が確認された。



上宮から5分ほど下った所で右側の踏み分けに入ると、このような光景が広がる。



上宮から15分ほどで産霊神社(行者堂)である。聖武天皇の天平12年頼願により建立と伝わる。石畳は護摩壇の跡であり修験道時代は役行者の木像が安置されていた。



5分ほど下ると、紅葉谷分岐である。奉幣殿と高巢原に行ける。沢沿いの静かなコースである。20分ほどで散策路入口の分岐である。沢沿いにUターンするように沢を巻き、対岸の中腹に沿って右回りに進む。やがて左への分岐に出合うが、直進して降ると高巢原スキー場の右端に沿ってキャンプ場の東屋へ着く。あとは九州自然歩道を別所駐車場まで40分ほどである。

